

来月の消費予報

**コロナ禍による外出自粛の反動などにより
消費意欲指数は、6月としては過去5年で最高値。**

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20～69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。※5月上旬に聴取(詳細はP5)
6月の消費意欲指数は47.9点。前月比+5.4ポイント、前年比+2.0ポイントと、ともに伸長しました。

6月の消費意欲指数



【前月比】

【前年比】

+5.4 ポイント

+2.0 ポイント

■ : 前月比/前年比で上昇 ■ : 前月比/前年比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(5月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。

カテゴリー別 消費意向

【前月比】

【前年比】



★ UP : 前月比/前年比で20人以上増加 ● DOWN : 前月比/前年比で20人以上減少

「来月(6月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ・利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月/前年と比較して作成。

6月のポイント

Point 1 : 自粛の反動でコロナ禍に関連する消費にネガティブな回答が減少

例年6月は大型連休後で消費意欲指数はあまり伸びませんが、今年は前月比・前年比とも伸び、6月としては過去5年で最高値となりました。特に、性別では女性、年代別では30代が前月・前年と比べ、高い伸びをみせています。

消費意欲指数の理由(自由回答)をみると、コロナ禍に関連する消費にネガティブな回答が多いものの、前月からは減少(20年5月560件→20年6月417件)。特に、コロナ禍で「外出できない・自粛、買い物できない」(同5月219件→6月132件)「意欲・気持ち低下する」(同5月127件→6月57件)という回答の減少が目立ちました。

逆に、消費にポジティブな回答は増加(同5月72件→6月187件)。具体的な声としては、「自粛の反動で外出・買い物をしたい/できていない消費をしたい」(同5月44件→6月107件)などが増加。「6月は外出規制が緩和している頃」(同5月9件→6月40件)という期待感もみられます。

6月は長引く自粛の反動や緩和への期待により、外出や買い物への意欲が例年以上に高まりそうです。

Point 2 : 「特に買いたいモノ・利用したいサービスがある」人も6月の最高値

「特に買いたいモノ・利用したいサービスがある」人の割合も、前月比+8.8ポイントの31.3%で6月としての最高値を記録。

「外食」「レジャー」「旅行」「理美容」「ファッション」など、外出関連を中心に全16カテゴリー中、前月比では10カテゴリー、前年比では7カテゴリーが20件以上増えています。

Point 3 : 「収入・仕事減」「意欲減退が定着」といった抑制的な声もみられる

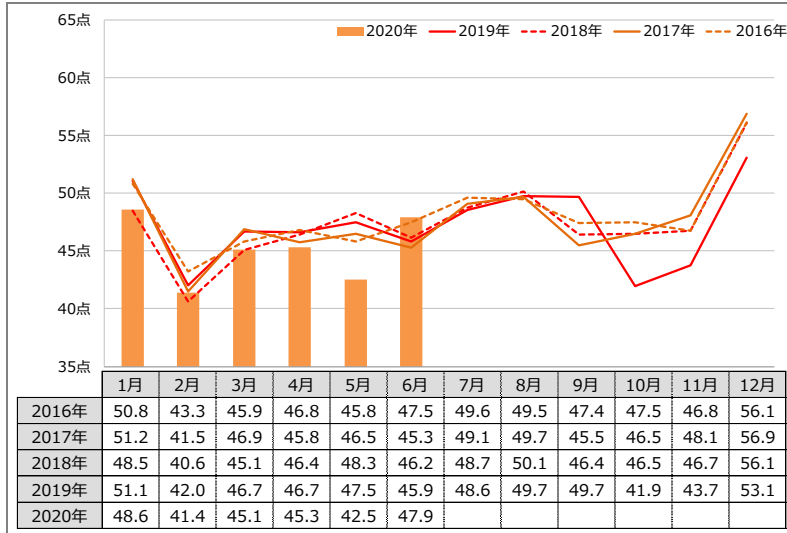
コロナ禍に関連する消費にネガティブな回答が減少する一方、「コロナで収入・仕事減」(5月51件→6月76件)、「コロナ禍の影響で消費意欲の減退が定着/消費しないことに慣れた/消費の必要がない」(5月14件→6月45件)などの意見が増加しています。仕事や収入面の不安、消費意欲減退の定着、といった抑制的な声にも今後注視が必要となりそうです。

消費意欲指数

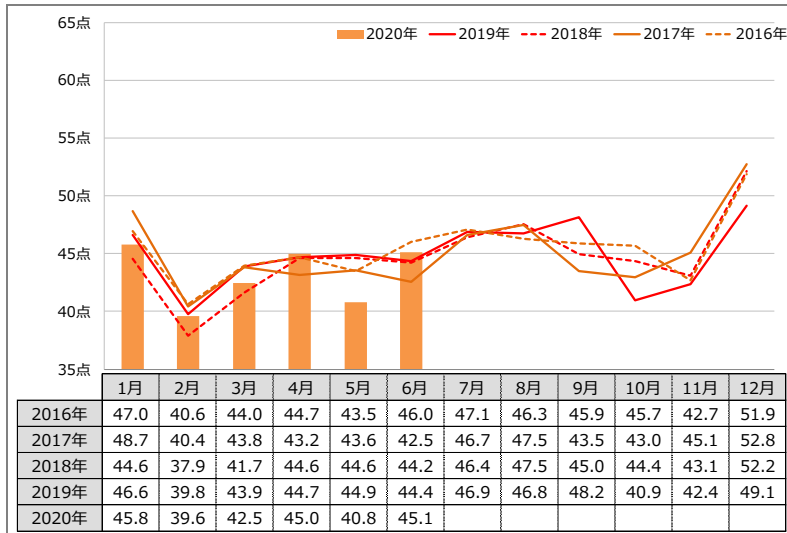
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(6月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

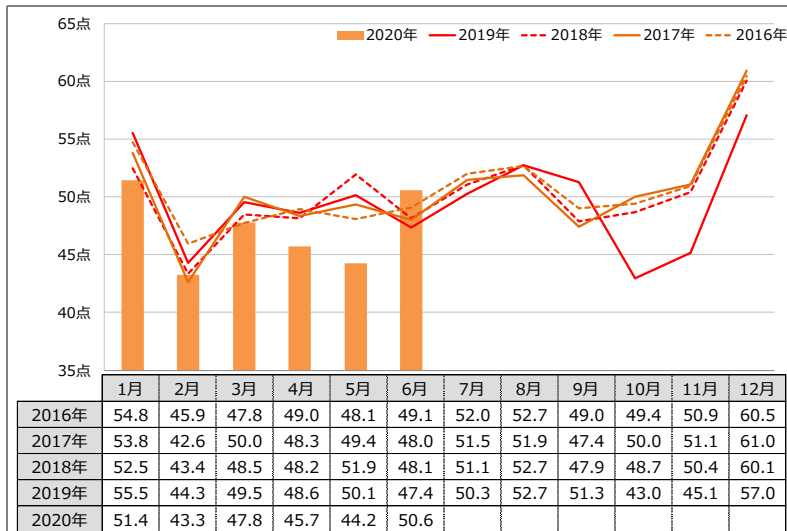
【全体】



【男性】



【女性】



消費意欲指数

(pt)

■ 性別/年代別比較

	(点)						20年6月比較	
	20年1月	20年2月	20年3月	20年4月	20年5月	20年6月	前月比	前年比
全体	48.6	41.4	45.1	45.3	42.5	47.9	+5.4	+2.0
男性	45.8	39.6	42.5	45.0	40.8	45.1	+4.3	+0.7
女性	51.4	43.3	47.8	45.7	44.2	50.6	+6.4	+3.3
20代	49.1	43.4	46.5	47.0	46.0	50.7	+4.7	+2.1
30代	50.2	42.0	47.5	45.5	43.3	51.5	+8.2	+4.4
40代	48.7	40.8	44.7	44.9	41.3	47.5	+6.2	+2.7
50代	47.8	37.4	43.3	45.1	40.1	44.5	+4.4	+2.2
60代	47.2	44.1	43.9	44.6	43.1	45.9	+2.8	-1.4

■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【コロナ禍に関連する消費にネガティブな回答】>

- ・コロナの影響で給与が減ることも懸念されるので、なるべく節約して貯蓄に回しておきたいという気持ちが強い(20点・男性28歳・埼玉県)
- ・コロナウィルスの影響で外に出る意欲がわからないから(0点・男性33歳・岐阜県)
- ・外出制限下で会いたい人にも会う事が困難なため、着飾る事も外食する事も無いから(25点・男性46歳・神奈川県)
- ・コロナの影響で仕事が無く、必要最小限のものしか買う意欲がない(5点・男性59歳・大阪府)
- ・コロナが終息しないであろうため、気分的に欲求が高まらない(30点・男性68歳・愛知県)
- ・給料が減ったし、外に出るのもまだこわいから(0点・女性27歳・大阪府)
- ・子どもの物は、優先に買うが自分の物はあとまわし。コロナで2か月間働いていないから、無収入。お金がない(30点・女性36歳・岐阜県)
- ・ロックダウンを経験して不必要なものはなるべく買わないようにするという感覚が身についた。今は消費欲求がほとんどない(30点・女性47歳・千葉県)
- ・コロナショックで、世帯の収入が減った。先も不透明で、将来また老後の不安があるため、節約して現金を貯めたいから(30点・女性53歳・兵庫県)
- ・自粛生活が続く、外出用の服や靴、化粧品を買おうという気が起きない。外食の楽しみもないので、消費意欲もありません(30点・女性61歳・愛知県)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【コロナ禍に関連する消費にポジティブな回答】>

- ・コロナでいろいろ我慢した分、何かを買ったりして発散したいから(100点・男性29歳・大阪府)
- ・コロナウイルス対策で3月から外食を我慢しており、外食したい欲求が最高に高まっているから(100点・男性34歳・東京都)
- ・予定していた旅行に出かけられずお金を使っていないので、来月になればまとめてばあ～と使いたい気分になっていそう(100点・男性45歳・愛知県)
- ・在宅勤務になり外出しない生活になっていて、自粛疲れして来たと感じるから(70点・男性54歳・愛知県)
- ・コロナも少しずつ収まり、日常に近づく生活習慣になると思う(80点・男性67歳・兵庫県)
- ・コロナウイルス対策でなかなか自由に出歩けないので、気にせず服を買ったりエステに行ったりしたい(100点・女性28歳・岐阜県)
- ・私と本来保育園に通っているはずの子どもが自宅待機となり、お互いストレスが少しずつ貯まってきているから(100点・女性32歳・兵庫県)
- ・緊急事態宣言でどこにも出かけられないし、友達とショッピングやランチなどおしゃべりしたり、出かけたりしたいから(80点・女性49歳・大阪府)
- ・コロナで自粛して思うように買い物も出来ていないから。6月になれば日常に少しでも近づいてくれたらと願いも込めて(80点・女性51歳・愛知県)
- ・自粛期間中は日用雑貨や服飾品などを買えなかったのでもそれらにお金を使いたい(80点・女性62歳・東京都)

()内点数:消費意欲指数

(参考) 新型コロナウイルス周りの主な動き ※前回調査(4月2日～6日)後より今回調査(5月7日～11日)まで

- 4月7日 7都道府県に「緊急事態宣言」(5/6まで)
- 4月10日 東京都、休業要請施設対象を発表
- 4月13日 休業要請、7都道府県で足並み。大阪、千葉は14日から
- 4月16日 緊急事態宣言を全国に拡大
安倍首相、所得制限を設けず国民に一律10万円給付を表明
- 4月23日 小池知事の呼びかけ「買物は3日に1回に。GWはSTAY HOME週間に。」
- 5月4日 首相、緊急事態宣言の5/31までの延長を発表。
政府の専門家会議、「新しい生活様式」の具体例を提示
- 5月5日 大阪府、独自基準に基づく自粛要請解除と対策の考え方「大阪モデル」を発表
- 5月7日 西村経済再生相、17県について緊急事態宣言解除を視野、と明言

補足資料③

特に買いたいモノ・利用したいサービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(6月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2020年6月(%)	前月比(pt)	前年比(pt)
全体	31.3	+8.8	+4.8
男性	29.4	+5.7	+5.4
女性	33.2	+12.0	+4.1

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(469人)

参考:男性(222人)

参考:女性(247人)

順位	カテゴリー	6月 (人数)	前月比	前年比	順位	カテゴリー	6月 (人数)	前月比	前年比	順位	カテゴリー	6月 (人数)	前月比	前年比
1	ファッション	251	+95	+24	1	外食	92	+28	+21	1	ファッション	168	+70	+21
2	外食	239	+108	+84	2	ファッション	83	+25	+3	2	外食	147	+80	+63
3	食品	207	+54	+67	3	食品	79	+8	+23	3	理美容	140	+89	+73
4	理美容	178	+108	+91	4	旅行	76	+22	+8	4	食品	128	+46	+44
5	旅行	163	+63	+32	5	書籍・エンタメ	67	+4	+10	5	化粧品	102	+33	+16
6	飲料	146	+23	+36	6	レジャー	65	+31	+13	6	旅行	87	+41	+24
7	レジャー	145	+78	+31	7	家電・AV	64	+13	+16	7	飲料	83	+23	+22
8	書籍・エンタメ	122	+11	+5	8	飲料	63	±0	+14	8	レジャー	80	+47	+18
9	化粧品	110	+32	+11	9	パソコン・タブレット・周辺機器	43	±0	+6	9	日用品	67	+19	+13
10	家電・AV	109	+29	+7	10	理美容	38	+19	+18	10	書籍・エンタメ	55	+7	-5
11	日用品	94	+8	+14	11	インテリア用品	27	+10	+11	11	家電・AV	45	+16	-9
12	インテリア用品	71	+26	+11	11	日用品	27	-11	+1	12	インテリア用品	44	+16	±0
13	装飾品	63	+13	-4	13	スマートフォン・携帯電話	24	+3	+4	13	装飾品	39	+14	-4
14	パソコン・タブレット・周辺機器	61	+5	+9	13	装飾品	24	-1	±0	14	パソコン・タブレット・周辺機器	18	+5	+3
15	スマートフォン・携帯電話	39	-4	+7	15	車・バイク	17	-11	-21	15	スマートフォン・携帯電話	15	-7	+3
16	車・バイク	22	-14	-25	16	化粧品	8	-1	-5	16	車・バイク	5	-3	-4

<全体にのみ下記基準で色付け>

■ :前月比/前年比で20人以上増加

■ :前月比/前年比で20人以上減少

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(6月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(6月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要	生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。
調査地域	①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏
調査対象者	20～69歳の男女
対象者割付	調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付
サンプル数	合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	145	190	161	137	755
女性	119	141	185	158	142	745
合計	241	286	375	319	279	1,500

調査方法	インターネット調査
調査時期	2020年5月7日(木)～11日(月)(2012年4月から調査開始/毎月上旬に実査)
調査機関	株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

<備考>

- ・「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。
- ・博報堂生活総合研究所は、5/21付で「第2回 新型コロナウイルスに関する生活者調査(2020年5月)」を発表いたしました。
<https://seikatsusoken.jp/wp/wp-content/uploads/2020/05/corona-release05.pdf>
- こちらは、毎月第3週頃に発表する予定です。併せてご利用下さい。

問い合わせ先 株式会社博報堂 広報室(大野) koho.mail@hakuodo.co.jp

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2020-06/>)からダウンロードしていただけます